

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	1	
授業科目	エンジン構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	エンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	総論 内燃機関の分類・4サイクルガソリンエンジン概要 エンジン本体① シリンダ・シリンダブロック エンジン本体② シリンダヘッド・燃焼室・ノッキング エンジン本体③ シリンダヘッドガスケット・ピストン・ピストンピン エンジン本体④ ピストンリング・コンロッド エンジン本体⑤ クランクシャフト・バルブタイミング エンジン本体⑥ バルブタイミング エンジン本体⑦ バルブタイミングまとめ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	2	
授業科目	エンジン構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	エンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	エンジン本体⑧ フライホイール・エンジンベアリング エンジン本体⑨ バルブ機構・バルブスプリング 潤滑装置 冷却装置① ラジエータ・ウォーターポンプ 冷却装置② サーモスタット・ファン 燃料装置 吸排気装置・排気ガス浄化装置 2輪エンジン まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	3	
授業科目	エンジン構造学Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	エンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 電子制御燃料噴射装置① 3. 4 電子制御燃料噴射装置② 5. 6 電子制御燃料噴射装置③ 7. 8 電子制御燃料噴射装置④ 9. 10 電子制御燃料噴射装置⑤ 11. 12 電子制御燃料噴射装置⑥ 13. 14 電子制御燃料噴射装置⑦ 15. 16 電子制御装置まとめ① 17. 18 電子制御装置まとめ②	概要・OBD・DTC 燃料系統 吸気系統・アイドル制御 吸入空気量センサ スロットルセンサ 回転センサ 温度センサ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	4	
授業科目	シャシ構造学 A I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	動力伝達装置① 概要・駆動方式・クラッチ 動力伝達装置② クラッチ本体 動力伝達装置③ クラッチ操作機構 動力伝達装置④ クラッチ故障原因 動力伝達装置⑤ トランスミッション 動力伝達装置⑥ マニュアルトランスミッション 動力伝達装置⑦ シンクロメッシュ機構 動力伝達装置⑧ 操作機構 動力伝達装置⑨ プロペラシャフト
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	5	
授業科目	シャシ構造学AⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	動力伝達装置⑩ ファイナルギヤ・ディファレンシャル 動力伝達装置⑪ ディファレンシャル計算・LSD 動力伝達装置⑫ ドライブシャフト・アクスルシャフト アクスル及びサスペンション① 概要・構造機能 アクスル及びサスペンション② シャシスプリング アクスル及びサスペンション③ ショックアブソーバ アクスル及びサスペンション④ 車軸懸架式 アクスル及びサスペンション⑤ 独立懸架式 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	6	
授業科目	シャシ構造学AⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	ホイールアライメント① 概要・構造・機能 ホイールアライメント② キャスタ・キングピン ホイールアライメント③ トー・タイヤの偏摩耗 ホイールアライメント④ 四輪アライメント・サイドスリップ サスペンションの機能 ボディの振動揺動 エアサスペンション① 構成・フロントサスペンション・リヤサスペンション エアサスペンション② エアコンプレッサ エアサスペンション③ 制御式サスペンション まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	7	
授業科目	シャシ構造学B I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	ブレーキ装置① 概要・フットブレーキ・ブレーキペダル ブレーキ装置② ディスクブレーキ ブレーキ装置③ ドラムブレーキ① 作動・種類 ブレーキ装置④ ドラムブレーキ② 構造機能 ブレーキ装置⑤ マスタシリンダ ブレーキ装置⑥ Pバルブ・LSPV ブレーキ装置⑦ 制動倍力装置 ブレーキ装置⑧ パーキングブレーキ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	8	
授業科目	シャシ構造学B II	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	ステアリング装置① 概要 ステアリング装置② ステアリングギヤ機構① ステアリング装置③ ステアリングギヤ機構② ホイールタイヤ① ホイール ホイールタイヤ② タイヤ 2輪 概要・動力伝達・クラッチ 2輪 動力伝達① ミッション・チェーン 2輪 動力伝達② サスペンション・ステアリング まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	9	
授業科目	シャシ構造学BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	ブレーキ概要・エア油圧ブレーキ① 構造 エア油圧ブレーキ② ブレーキバルブ エア油圧ブレーキ③ 制動倍力装置 フルエアブレーキ ABS① 概要 ABS② 作動 TCS 概要 その他ブレーキ 電子制御ブレーキ（EBS）・排気ブレーキ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	10	
授業科目	電装品構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	電気の基礎① 電気回路について 電圧・電流・抵抗 電気の基礎② 回路計算① 直列回路の合成抵抗・電流・電圧降下 電気の基礎③ 回路計算② 並列回路の合成抵抗・電流・電圧降下 電気の基礎④ 回路計算③ スイッチ回路・電圧特性 電気の基礎⑤ 回路計算④ 回路の合成抵抗・電流・電圧降下 電気の基礎⑥ 回路計算⑤ まとめ 半導体 ヒューズ・リレー回路・配線許容電流 磁気の基礎・磁気・磁界及び磁力線・磁束と磁束密度
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	11	
授業科目	電装品構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	バッテリー① 概要 構造・形式・電解液 バッテリー② 起電力・放電・容量 バッテリー③ 始動性能・比重・凍結温度・内部抵抗 バッテリー④ まとめ 始動装置（スタータ）① 概要 構造 始動装置（スタータ）② モータ原理・出力特性 始動装置（スタータ）③ 動力伝達・マグネットスイッチ 始動装置（スタータ）④ 作動 始動装置（スタータ）⑤ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	12	
授業科目	電装品構造学Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 充電装置① 構造・機能 3. 4 充電装置② 交流の発生・三相交流・整流 5. 6 充電装置③ 中性点ダイオード付きオルタネータ 7. 8 充電装置④ ボルテージレギュレータ制御作用 9. 10 充電装置⑤ まとめ 11. 12 点火装置① 概要 構造・機能・点火の基礎 13. 14 点火装置② 気筒別独立点火方式・イグニッションコイル 15. 16 点火装置③ スパーク・プラグ（熱価・着火性能等） 17. 18 点火装置④ まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	13	
授業科目	自動車工学 I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16	SI単位・接頭語 化学（元素記号）・物理の基礎 力・トルクの計算・圧力の計算 速度・加速度・回転数・単位の換算 ネジの用途と種類・ベアリングの種類 測定（スケール・ノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージ・シックネスゲージ） 製図 基礎知識と三面図（第三角法）・断面図・透視図 まとめ（計算問題等の再確認）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	14	
授業科目	自動車工学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16	排気量・圧縮比の計算・平均ピストンスピードの計算 ギヤ比の計算 ファイナルギヤ・速度・駆動力の計算 ベルトの計算 バルブリフトの計算 油圧の計算（ブレーキ関係含む） 復習① 復習②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	15	
授業科目	基本作業実習 I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	工具の取り扱いと締め付け方法、測定技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	正しく工具を使用できるようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要・工具取り扱い 締め付けトルクについて 研削道具の使用方法 スタットボルト等 トラブル解消法 まとめ① 測定基礎① 測定基礎② 測定基礎③ まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	16	
授業科目	基本作業実習Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の基本的な取り扱い、整備技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の基本的な取り扱い、整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要・車両名称・車両取り扱いについて リフト取り扱い・使用前点検 タイヤ取り外し ガレージジャッキについて・使用前点検 ジャッキアップ作業 KYT講習 日常点検① 日常点検② まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	17	
授業科目	基本作業実習Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	テストの組み立てと電気の測定方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	基礎的な電気の測定技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	概要・配線・はんだ作業
	7～12	アナログサーキットテスト作成
	13～18	電気の流れ測定方法・回路構成部品について
	19～24	電圧の計算・測定
	25～30	電流の計算・測定
	31～36	抵抗の計算・測定
	37～42	測定復習
	43～48	バッテリー①
	49～54	バッテリー②
	55～60	バッテリーまとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	18	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	エンジンに関する整備と測定を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの整備、測定技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要・エンジン取り外し エンジン分解 エンジンの仕組み① エンジンの仕組み② 測定 エンジン組み付け① エンジン組み付け②・車両搭載 各種調整 試運転 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	19	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	制動装置を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	制動装置が整備できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	制動装置① 概要
	7～12	制動装置② マスタシリンダ分解・点検
	13～18	制動装置③ マスタシリンダ点検・組み付け
	19～24	制動装置④ ディスクブレーキ分解・点検・組み付け
	25～30	制動装置⑤ ドラムブレーキ分解・点検・組み付け
	31～36	制動装置⑥ ブレーキ液取り換え・エア抜き作業
	37～42	制動装置⑦ 真空制動倍力装置
	43～48	パーキングブレーキ
	49～54	まとめ①
	55～60	まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	20	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A III	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車電気装置の整備について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	始動装置① 概要 始動装置② 取り外し・分解 始動装置③ 点検・組み付け・取り付け 充電装置① 概要 充電装置② 取り外し・分解 充電装置③ 点検・組み付け・取り付け 点火装置① 概要 点火装置② 取り外し・点検・組み付け まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	21	
授業科目	基礎自動車整備作業実習B I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	エンジンの分解組み付けを行いエンジンに関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンに関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	概要・エンジン分解準備 エンジン分解① エンジン分解② 測定作業 エンジンメンテナンス エンジン組み付け① エンジン組み付け② 試運転 まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	22	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 B II	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車のシャシに関する整備を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシに関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	動力伝達装置① 概要 動力伝達装置② トランスミッション取り外し 動力伝達装置③ クラッチ・トランスミッション取り付け 動力伝達装置④ マニュアルトランスミッション① 動力伝達装置⑤ マニュアルトランスミッション② 動力伝達装置⑥ ディファレンシャル① 動力伝達装置⑦ ディファレンシャル② 動力伝達装置⑧ プロペラシャフト 動力伝達装置⑨ ドライブシャフト まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	23	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	車体電装を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	車体電装の構造と測定作業ができる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	車体電装① 概要 車体電装② 配線・ヒューズ 車体電装③ スイッチ・リレー 車体電装④ 灯火類① 回路・点検・測定 車体電装⑤ 灯火類② 回路・点検・測定 車体電装⑥ 故障診断① 車体電装⑦ 故障診断② 車体電装⑧ ワイパ 車体電装⑨ パワーウインドウ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	24	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BⅣ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	法令点検を的確に実施できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	12カ月点検① 概要・日常点検 12カ月点検② エンジンルーム 12カ月点検③ 足回り・下回り 12カ月点検④ 制動装置・舵取り装置 12カ月点検⑤ 灯火類・記録簿 12カ月点検演習① 12カ月点検演習② 12カ月点検演習③ 12カ月点検演習④ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	25	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BⅤ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車のシャシに関する整備を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシに関する整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	舵取り装置① 概要 舵取り装置② ステアリングギヤボックス分解 舵取り装置③ ステアリングギヤボックス組み付け 緩衝装置① サスペンション取り外し 緩衝装置② サスペンション分解 緩衝装置③ サスペンション組み付け ホイールアライメント① ホイールアライメント② ホイールアライメント③ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	26	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BⅥ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の電気回路について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の電気回路を理解し、測定技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 エンジン電子制御① 概要 7～12 エンジン電子制御② センサ① 13～18 エンジン電子制御③ センサ② 19～24 エンジン電子制御④ アクチュエータ① 25～30 エンジン電子制御⑤ アクチュエータ② 31～36 エンジン電子制御⑥ 故障診断① 37～42 エンジン電子制御⑦ 故障診断② 43～48 エンジン電子制御⑧ 故障診断③ 49～54 まとめ① 55～60 まとめ②	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	27	
授業科目	エンジン整備法 A	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	エンジンの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンの整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	電子制御装置 復習 燃料噴射制御① 基本噴射時間 燃料噴射制御② 各種補正時間 燃料噴射制御③ 非同期噴射 燃料噴射制御④ 電子制御スロットルバルブ 燃料噴射制御⑤ イグニッションコイル 燃料噴射制御⑦ 点火時期制御 燃料噴射制御⑧ 通電時間制御 燃料噴射制御⑨ まとめ エンジン 効率・燃焼過程
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	28	
授業科目	エンジン整備法B	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	エンジンの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジン整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 総論 燃焼過程・吸気過剰率・ジーゼルノック・排気ガス 3. 4 エンジン本体① シリンダ・シリンダヘッド・ピストン 5. 6 エンジン本体② ピストンリング・バルブタイミング・潤滑装置 7. 8 バランサ機構・バルブクリアランス自動調整機構・タイミングベルト 9. 10 燃料装置① 機械式ポンプ概要・予熱装置 11. 12 燃料装置② コモンレール 概要・サプライポンプ 13. 14 燃料装置③ コモンレール 制御バルブ 15. 16 燃料装置④ コモンレール インジェクタ・ECU 17. 18 排気ガス後処理装置・DPF・尿素SCR・排気装置 19. 20 まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	29	
授業科目	シャシ整備法A	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シャシの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	動力伝達装置⑬ AT① トルクコンバータ 動力伝達装置⑭ AT② 変速機構 動力伝達装置⑮ AT③ 変速の仕組み・各センサ 動力伝達装置⑯ AT④ ECUによる制御・油圧制御機構 動力伝達装置⑰ AT⑤ 変速点キックダウン・1速作動例 動力伝達装置⑱ AT⑥ 2速、3速、4速作動例・リバース作動例 動力伝達装置⑲ AT⑦ N、Pレンジ・ロックアップ機構 動力伝達装置⑳ まとめ 動力伝達装置㉑ CVT 動力伝達装置㉒ インタアクスルディファレンシャル
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	30	
授業科目	シャシ整備法B	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シャシの整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	パワーステアリング装置① コーナリングフォースの発生 パワーステアリング装置② 種類・油圧式 パワーステアリング装置③ 電動式 タイヤの特性① たわみ・バランス タイヤの特性② 走行音偏平率・車体への取り付け フレームボディ 2輪車① フレーム・サスペンション 2輪車② ブレーキ・ABS 補助ブレーキ・リターダ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	31	
授業科目	電装品整備法	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	電装品の整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の整備方法を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	半導体・整流回路・スイッチング回路・論理回路 電気装置の配線（CAN）① CAN概要・構造・機能 電気装置の配線（CAN）② 通信方法 シャシ電気装置 メータ・ステップモータ 安全装置① SRSエアバック概要・構造・機能 安全装置② SRSエアバック作動・シートベルト機能 ハイブリッド自動車及び電気自動車① ハイブリッド自動車及び電気自動車② 先進安全装置 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	32	
授業科目	自動車工学Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 軸重の計算① 乗用車・トラック①（ガソリン分野別工学①） 3. 4 軸重の計算② 乗用車・トラック②（ガソリン分野別工学②） 5. 6 軸重の計算③ レッカー車（ディーゼル分野別工学） 7. 8 自動車の性能 走行抵抗と駆動力 9. 10 走行性能曲線図 出力・仕事率 11. 12 分野別問題集① 工学① 13. 14 分野別問題集② 工学② 15. 16 まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	33	
授業科目	故障診断学エンジン I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	エンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	分野別問題集① 総論 分野別問題集② エンジン本体① 分野別問題集③ エンジン本体② 分野別問題集④ エンジン本体③ 分野別問題集⑤ エンジン本体④ 分野別問題集⑥ エンジン本体⑤ 分野別問題集⑦ 潤滑装置・冷却装置・吸排気装置 分野別問題集⑨ 電子制御装置① 分野別問題集⑩ 電子制御装置② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	34	
授業科目	故障診断学エンジンⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	エンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	分野別問題集① 総論①・総論② 分野別問題集② エンジン本体①・エンジン本体② 分野別問題集③ エンジン本体②・エンジン本体③ 分野別問題集④ 潤滑装置・冷却装置 分野別問題集⑤ 燃料装置① 分野別問題集⑥ 燃料装置② 分野別問題集⑦ 燃料装置③ 分野別問題集⑧ 燃料装置④ 分野別問題集⑨ 吸排気装置 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
科目番号	35		
授業科目	故障診断学シャシA I		
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	二級自動車整備学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	20時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する		
教科書	実践問題集		
特記			
授業計画	1. 2	分野別問題①	動力伝達装置①クラッチ・トルクコンバータ
	3. 4	分野別問題②	動力伝達装置②速度比・トルク比・伝達効率
	5. 6	分野別問題③	動力伝達装置③自動変速線図・A/T安全装置
	7. 8	分野別問題④	動力伝達装置④ディファレンシャル
	9. 10	分野別問題⑤	サスペンション①ばね特性・ボディの揺動
	11. 12	分野別問題⑥	サスペンション②アクスル及びサスペンション
	13. 14	分野別問題⑦	サスペンション③サスペンションの異音
	15. 16	分野別問題⑧	サスペンション④エア・サスペンション
	17. 18	まとめ①	
	19. 20	まとめ②	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	36	
授業科目	故障診断学シャシAⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2	総合問題A①
	3. 4	総合問題A① 振り返り
	5. 6	総合問題A②
	7. 8	総合問題A② 振り返り
	9. 10	総合問題A③
	11. 12	総合問題A③ 振り返り
	13. 14	総合問題A④
	15. 16	総合問題A④ 振り返り
	17. 18	総合問題A⑤
	19. 20	総合問題A⑤ 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	37	
授業科目	故障診断学シャシB I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	分野別問題① ステアリング① 分野別問題② ステアリング② 分野別問題③ ホイールタイヤ 分野別問題④ ホイールアライメント 分野別問題⑤ ブレーキ① ABS 分野別問題⑥ ブレーキ② ABS 分野別問題⑦ TCS 分野別問題⑧ フレームボディ 分野別問題⑨ 2輪 分野別問題⑩ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	38	
授業科目	故障診断学シャシBⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2	総合問題B①
	3. 4	総合問題B① 振り返り
	5. 6	総合問題B②
	7. 8	総合問題B② 振り返り
	9. 10	総合問題B③
	11. 12	総合問題B③ 振り返り
	13. 14	総合問題B④
	15. 16	総合問題B④ 振り返り
	17. 18	総合問題B⑤
	19. 20	総合問題B⑤ 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	39	
授業科目	故障診断学電装品	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	電気装置に関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気装置に関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	分野別問題① 基礎工学（電気回路） 分野別問題② 電気装置①（半導体・論理回路） 分野別問題③ 電気装置②（電気一般・計器） 分野別問題④ 電気装置③（バッテリー） 分野別問題⑤ 電気装置④（始動装置） 分野別問題⑥ 電気装置⑤（充電装置） 分野別問題⑦ 電気装置⑥（点火装置） 分野別問題⑧ 電気装置⑦（警報装置・冷房装置） 分野別問題⑨ 電気装置⑧（SRSエアバッグ・カーナビ） 分野別問題⑩ 電気装置⑨（CAN通信・外部診断器）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	40	
授業科目	特殊機構	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	特殊機構の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	特殊機構の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 可変バルブタイミング装置 3. 4 可変バルブリフト装置 5. 6 吸排気装置① ターボチャージャ 7. 8 吸排気装置② スーパチャージャ、インタクーラ 9. 10 吸排気装置③ 可変吸気装置 11. 12 LPG・CNG 13. 14 ロータリエンジン 15. 16 まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	41	
授業科目	材料・燃料・油脂	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	材料① 自動車材料 材料② 自動車の機械要素 材料③ 基礎的な原理・法則 材料④ 分野別練習問題 燃料・油脂① ガソリン燃料及び潤滑剤 燃料・油脂② ジーゼル燃料及び潤滑剤 燃料・油脂③ 潤滑及び潤滑剤 燃料・油脂④ 分野別練習問題① 燃料・油脂⑤ 分野別練習問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	42	
授業科目	自動車検査	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20	自動車の構造 自動車の装置① 原動機・シャシ① 自動車の装置② 原動機・シャシ② 自動車の装置③ 原動機・シャシ③ 自動車の装置④ 車体 自動車の装置⑤ 公害防止関係 自動車の装置⑥ 灯火関係① 自動車の装置⑦ 灯火関係② 自動車の装置⑧ 灯火関係③ 自動車の装置⑨ 運転操作
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	43	
授業科目	自動車関係法令	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16	概要・道路運送車両法・自動車の種類 登録制度・自動車登録ファイル・自動車登録番号標 保安基準 点検整備制度① 点検整備の義務 点検整備制度② 点検整備記録簿 検査制度① 自動車の検査 検査制度② 自動車検査証の有効期間 認証制度・指定制度
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	44	
授業科目	応用自動車整備作業実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	2輪整備とトランスミッションについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	2輪車とトランスミッションの構造を理解し、整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	2輪整備① 概要 2輪整備② 車体① 2輪整備③ 車体② 2輪整備④ エンジン① 2輪整備⑤ エンジン② 2輪まとめ AT① 概要 AT② 取り外し AT③ 組み付け まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	45	
授業科目	応用自動車整備作業実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の電気装置について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	デジタルテスタを使用した電気装置の測定と故障診断技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	デジタルテスタ作成 デジタルテスタ測定 デジタル回路① デジタル回路② 車体制御装置① ABS 車体制御装置② TCS 車体制御装置③ 横滑り CAN通信① CAN通信② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	46	
授業科目	応用自動車整備作業実習 B I	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の電子制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	オシロスコープを用いた測定と故障診断技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	電子制御装置① センサ測定 電子制御装置② アクチュエータ測定 電子制御装置③ 故障診断① 電子制御装置④ 故障診断② 電子制御装置⑤ 故障診断③ 電子制御装置⑥ まとめ 車両診断器を活用した故障診断① 車両診断器を活用した故障診断② 車両診断器を活用した故障診断③ まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	47	
授業科目	応用自動車整備作業実習BⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	動力について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	動力源の仕組みを理解し整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	ジーゼルエンジン① 概要 ジーゼルエンジン② 点検整備① ジーゼルエンジン③ 点検整備② ジーゼルエンジン④ 点検整備③ ジーゼルエンジン⑤ 点検整備④ 電気自動車等の整備① 電気自動車等の整備② 電気自動車等の整備③ まとめ① まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	48	
授業科目	応用自動車整備作業実習BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	エンジン、トランスミッションの脱着作業、エアコンについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	部品脱着作業、エアコンの整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	車両からのエンジン脱着 概要 車両からのエンジン取り外し① 車両からのエンジン取り外し② 車両にエンジン搭載① 車両にエンジン搭載② 冷却水補充・エンジン始動 エア・コンデショナの取り外し エア・コンデショナの構造確認 エア・コンデショナの取り付け まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	49	
授業科目	自動車検査実習	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	自動車の法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検整備と自動車検査技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6 7～12 13～18 19～24 25～30 31～36 37～42 43～48 49～54 55～60	12カ月点検 復習 24カ月点検① 概要・室内 24カ月点検② エンジンルーム・足回り・下回り 24カ月点検③ 制動装置・舵取り装置 24カ月点検④ 公害発散防止装置・記録簿 エーミング 自動車検査① サイドスリップ・スピード・ブレーキ 自動車検査② ヘッドライト・排気ガス 自動車検査③ 外観検査・保安基準 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	50	
授業科目	総合自動車整備実習	
実務家教員授業	授業担当者：小林恒彦・木山龍昭・大西剛・藤永賢治・宮木光司・安藤寿晃	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	64時間	
授業コマ数	64コマ	
授業概要	自動車整備士の総合的な技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	総合的な自動車整備技術を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～6	概要
	7～12	測定技術 エンジン整備技術
	13～18	接客応対
	19～24	故障診断技術①
	25～30	故障診断技術②
	31～36	故障診断技術③
	37～42	法令点検技術① エンジンルーム関係
	43～48	法令点検技術② シヤシ関係①
	49～54	法令点検技術③ シヤシ関係②
	55～60	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	51	
授業科目	自動車キャリアデザインⅠ	
実務家教員授業	授業担当者：	
	－	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	就職の心構え 自己PR・自己分析 面接試験項目① 面接試験項目② 説明会・選考試験① 説明会・選考試験② 履歴書作成① 履歴書作成② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	52	
授業科目	自動車キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ビジネスマナーについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	基本的なビジネスマナーを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	学校と職場の違い 職場のマナー 仕事の進め方 報告 連絡 相談 挨拶 笑顔 お辞儀① 挨拶 笑顔 お辞儀② 敬語① 敬語② まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	53	
授業科目	自動車キャリアデザインⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	18時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	企業連携研修	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	実務に近い作業が出来るようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18	企業連携研修① 企業連携研修② 企業連携研修③ 企業連携研修④ 企業連携研修⑤ 企業連携研修⑥ 企業連携研修⑦ 企業連携研修⑧ 企業連携研修⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	54	
授業科目	卒業前特別講義	
実務家教員授業	授業担当者：	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	企業連携研修	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	実務に近い作業が出来るようになる	
教科書		
特記		
授業計画	1. 2 3. 4 5. 6 7. 8 9. 10 11. 12 13. 14 15. 16 17. 18 19. 20 21. 22 23. 24 25. 26 27. 28 29. 30	キャリア講演会① 敬語講座① ビジネスマナー研修① キャリア講演会② キャリア講演会③ 敬語講座② ビジネスマナー研修② キャリア講演会④ キャリア講演会⑤ 敬語講座③ ビジネスマナー研修③ キャリア講演会⑥ キャリア講演会⑦ 敬語講座④ 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		